

1 はじめに

南宇和支部では、各校の情報教育主任を中心に情報教育委員会を構成し、「情報社会に主体的に生きる力を育む教育の研究と実践—教育の情報化の推進を通して—」を主題に研修を実施した。

2 教職員研修について

(1) 郡情報教育委員会

① 日時：平成29年4月25日（火）13：30～16：15

② 場所：愛南町立城辺中学校

③ 内容

ア 役員の選出

イ 本年度の研究主題の検討・決定

ウ 研究計画

(ア) 期日 夏季休業中、12月頃

(イ) 内容 実技研修（タブレット端末等の活用について、プログラミング教育について）

(2) 研究実践状況（情報教育実技研修会）

昨年度、南宇和郡の全ての小・中学校でコンピュータの入替が行われ、新しくタブレット端末が導入された。多くの教員が授業で活用してはいるものの、常に最先端の指導法を学ぶ必要がある。また、2020年からのプログラミング教育の導入にあたり、その具体的な指導法についても研修を行わなければならない。

そこで、本委員会の会員である各校の情報教育主任が、タブレット端末を中心としたICTの活用方法やデジタル教科書の活用、電子黒板の活用、プログラミング教育の在り方などについて理解を深めることができるような研修を行った。8月にはタブレット端末やデジタル教科書を使った授業改善について、12月にはプログラミング教育の初歩について学んだ。



① 愛媛県総合教育センターサテライト講座「ICTを活用した授業改善」

ア 日時：平成29年8月29日（火）13:30～16:45

イ 場所：愛南町立平城小学校 参加人数14名

ウ 講師：県総合教育センター情報教育室

平井 敬浩 指導主事

松田 智也 指導主事

エ 内容

(ア) ICTを活用した授業改善

(イ) タブレット端末の活用

(ウ) デジタル教科書の活用

(エ) 電子黒板の活用



② 「プログラミング教育事始め」

- ア 日時：平成29年12月8日（金）15:15～16:45
- イ 場所：愛南町役場本庁 参加人数17人
- ウ 講師：兵庫県篠山市立味間小学校 川原雅樹先生
- エ 内容

- (ア) プログラミング教育必修化の背景
- (イ) プログラミング教育とプログラミング的思考
- (ウ) 各教科におけるプログラミング教育
- (エ) プログラミング教育のためのアプリ



3 成果と課題

南宇和郡では、ICT教育のためのハードウェアはかなり整ってきた。今後は、様々なソフトウェアの整備に伴い、デジタル教科書や電子黒板等を効果的に使うための研修が必要になってくる。2020年度から必修化されるプログラミング教育についても、理論と実践という両輪の研修を行ってきたい。